

柘植地域

まちづくりだより

第308号

令和6年度第2回「柘植地域まちづくり協議会・運営委員会」

8月23日(金)午後7時より柘植地区市民センターに於いて令和6年度第2回「運営委員会」を開催しました。【出席者】「運営委員会構成員」まち協役員5名/区長12名/各部長/委員長7名・計24名(内3名欠席) 宮田会長より、此れ迄の「役員会」「12区連絡協議会」「部会」等に於ける懸案事項の提起があり、本日の運営委員会で諮る旨の趣旨説明後、賛同を得る為、挙手を求め結果、出席者全員の賛成を得た次第です。

主たる議事として、①『つげ地域収穫祭』開催日11月3日【令和6年度伊賀市地域絆づくり補助金助成事業】の件は、堀田実行委員長(まち協副会長)より実行委員会で進捗状況を報告致しました。

②『地元企業訪問』宮田会長より地元企業とより緊密な地域連携を図るべく、今後の進め方を報告。更に、③『うつくし松育成事業』【令和6年度伊賀市「キラッと輝け!地域応援補助金」認可事業】に於ける現況



を宮田実行委員長から報告しました。最後に、④『令和6年度・いがまち展覧会』10月26日(土)午前9時〜午後4時半/27日(日)午前9時〜正午迄。実行委員会での中間報告を清水事務局長から報告しました。

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)
〒五一九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
令和六(2024)年八月三十日(金)



【9月〜11月】会議 行事日程

- ◆ 令和6年度第6回「役員会」9月10日(火)
- ◆ 令和6年度第6回「12区連絡協議会」9月13日(金)
- ◆ 令和6年度「健康ウォーキング」(関宿)健康福祉部会/9月29日(日)
- ◆ 令和6年度『避難所別・防災訓練』10月6日(日)12区毎に「防災訓練」実施
- ◆ 令和6年度第7回「役員会」10月9日(水)
- ◆ 令和6年度第7回「12区連絡協議会」10月11日(金)
- ◆ 『いがまち展覧会』10月26日「土」27日「日」
- ◆ 芭蕉の足跡を行く(近江編)11月2日(土)教育文化部会
- ◆ 『つげ地域収穫祭』11月3日(日・祝)トレラン²⁰²⁴と初の同時開催
- ◆ 令和6年度第8回「役員会」11月8日(金)
- ◆ 令和6年度第8回「12区連絡協議会」11月15日(金)
- ◆ 令和6年度第3回「運営委員会」11月22日
- ◆ 人権啓発合同フィールドワーク「水平社」11月23日(土)

柘植地域俳句コーナー
大夕焼
厨の金具
照らし出す
木村 幸代

令和6年度 『住民自治協議会・研修会』 伊賀市地域連携部 主催

8月8日、伊賀市ゆめぼりセンターに於いて『住民自治協議会研修会』が開催され7月8日(第一回・前半)に続き、後半と為る第2回目(第二回・後半)に続き、伊賀市の35ヶ所のまちづくり協議会が参加。会長・事務局長らが出席しました。

【講師】特定非営利活動法人「Mブリッジ」
代表理事・米山哲司氏(松阪市)



まちづくり計画の見直し方と担い手づくり

- ① 地域課題の再確認・再発見
- ② 連携・パートナーシップで考える地域づくり

第一回目(前編)は、7月8日に開催され、『地域課題の再確認・再発見』というテーマで、米山氏が講演。その後、18のグループ毎に分かれ、テーマに沿ったワークショップを実施しました。

第二回目(後編)が8月8日に開催され、『まちづくり計画の見直し方と担い手づくり』『連携・パートナーシップで考える地域づくり』のテーマで、米山氏の講演後、前回同様、グループ単位で各課題に対して意見交換、話し合いをしました。

講演の中で、様々な「会議」(話し合い)等に於いて、此れは重要だと思われる事柄の説明が有り、幾つか御紹介します。

- ① 楽しみながら、やってみよう。／失敗しながら、整えていこう。
- ② 決まったことは決まった事。「むしろえささない。ブツブツ言わない」はマナー
- ③ 「行き先、行き方」(地図)を手に入れたと喜び合う／担当者、数値目標、期限を無理なく、具体的に示す／ワクワク感(生きがい、好きなこと、得意なこと)を盛り込めるようにする。
- ④ トライしてみたこと自体が「成功」である。
- ⑤ 楽しめなかったことがあれば改善する。

⑥ 祭りも、イベントも、それがゴールではなく、「スタート」。

■ まとまらないことも多々あったが・・・
※ 決まったことが、少しはある。

※ 決まらなかったことは沢山あるが、次回はそれらを決めよう・・・ということが決まった。と皆んなで理解し合う。

■ 「接触」の頻度・・・何度も会うことで親近感が増す・・・「2時間を1回」より「30分を4回」のほうが受け入れやすい。

■ 「相応性」・・・こちらが好感情を持つことで、相手もそれに応じる。欲求や期待に応じてくれる。／「相補性」・・・思いやり、補い合い、依存関係が生まれる。

① 様々な方が集まる、集める(立場・年齢・性別に多様性を)

② 未来の話を持ち寄る(過去も大事だが・・・)

③ 違っていることが普通。

④ 人の話をしない。(初めから揃っていない)

⑤ すぐに決まるものではない。(まちの話をしましょう)

⑥ 誰かがやるだろうと考えない。「混沌」の先に「調和」がある。

「みんなで作らないか」「みんなで作るか」



【サークル・教室紹介】第27回
『やさしいにほんご教室』

③ まちは次世代への贈り物。
(自分の幸せも大事だが・・・)
以上、含蓄・示唆に富む要点を纏めてみました。

8月8日(木)午前中、柘植地区市民センターに於いて開催されました。講師は、やさしい日本語普及連絡会の船見和秀さんが務め、生涯学習の一環として実施。「外国人にわかりやすいようにした日本語」のことに中心に解説。外国人だけでなく、子どもや高齢者、障がいのある人にもわかりやすいことばを案内され「やさしい日本語」のコツとして「はさみの法則」を紹介。「は」つきり・・・あいまいな言い方をしきり言う。「さ」「い」まで・・・文末までは「はさみ」がポイントのようです。

【柘植 子夏祭り】

教育文化部会



コロナ禍で長らく途絶えていた「柘植 子夏祭り」が、7月28日(日)に5年振りに実施されました。第7回目となる今回は「奥余野の河原」(余野公園の奥)で川あそびを楽しみました。



総勢50名が参加「お昼ごはん」が特製カレーを提供食後のデザートはスイカ。親子で参加した人達が殆どには久々の川遊びで盛夏のひと時を楽しみ過ごしました。(当日の様子は伊賀上野ケーブルTVで放映されました。)

【つばめカマ】流しそうめん大会

7月27日(土)毎日暑い日が続く中、今年も「流しそうめん大会」を開催しました。地域の皆さんが、今年も竹を切り、夜なべして！流しそうめんの装置を作ってください、当日も早朝からの畑仕事を終えて来てくれた皆さんのパワーには、本当に感謝です☆
暑い日でしたが、流しそうめん大会の前に

は「かき氷」を食べて暑さを凌ぎました。好きなシロップを好きなだけかけて、何度もおかわりして最高！また地域の皆さんが竹で器や箸も作ってくださったので、やってみたい子は一緒に竹を割ったり、削ってみたり、きれいに洗ったりしました！

小さい子が大きい子に手伝ってもらいながら竹を上手に割っていました。一人だてできないことも、みんなでやると経験できるのがいいですね。

さあ！いよいよメインの流しそうめん！参加してくれたママたちも手伝ってくれて20束のそうめんを茹でてきれいに盛り付けて☆そうめんを流すよ！と声を掛けると、みんな竹の前に一列に。どんどん流れてくるそうめん、トマト、きゅうりを竹の箸と器でいただく。・何とも贅沢な時間となりました。最後は、皆で「花火大会」！吹き上げ花火を見ながら、みんなで一緒に夏を満喫できたこと、とっても嬉しかったです。

参加してくれた子どもたち、沢山準備してくださった地域の皆さん、そして、当日手伝ってくださった参加者の皆さん、本当にありがとうございました！

『つばめカフェ』はみんなで作り上げていく地域食堂だなぁと皆さんのおかげもあってのことと、改めて感じられた一日になりました！次回は、9月22日(日)夕方頃「秋祭り」を開催します☆ご参加お待ちしております♪ (丸柱真優佳)



★☆☆ 編集後記 ☆☆☆

▼立秋(8月7日)も処暑(8月22日)も過ぎ、秋らしい気配が漂い始める「白露」(9月7日)が近付く頃、漸く残暑も一段落の時節と為りました。

▼35度以上の猛暑日が連続で1ヶ月以上続いた所(福岡大宰府、淡路等)も在り今夏も異常に暑かったですね。昨年7月の平均気温が過去10年で最も高かったと昨秋発表有りましたが、昨夏を更新する見込みです。

▼近年の猛暑や豪雨等の異常気象の要因は温室効果ガス(CO2)排出量の増加に伴う地球温暖化が主因とされ、石炭・石油等の化石燃料の燃焼に拠る量が総排出量の75%以上を占めます。

▼政府は2020年10月、2050年迄に温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指す事を宣言しました。全体としてゼロという事はCO2の「排出量」から、海洋・森林・土壌に因る「吸収量」を差し引き合計でゼロにする事を意味します。

突き抜けて 天上の紺 曼珠沙華(山口誓子)

(秋の澄んだ青空が突き抜ける様に高い。鮮やかな紺色の下には真っ赤な曼珠沙華「彼岸花」が天に届くが如く咲き誇る)(90、99) 俳人・本名・新比古「ちかひこ」京都市生れ(東大法卒)句集「凍港」で新興俳句の中心となり即物象徴に依る写生を目指しました。虫たちの競演が秋到来を告げます。(清水)